

Lesson3

文型 (SVC) /

このチョコレートは初恋のようにほろ苦い(>_<)

This chocolate tastes bittersweet like the first love.

SVC型の動詞と言えば **be** 動詞が代表的ですが、他にも**補語をとることができる動詞**があります。**SV**型と区別するためにも、これらの動詞を覚えておくことが大切です。**This chocolate tastes bittersweet like the first love.** 「このチョコレートは初恋のようにほろ苦い(>_<)」は **SVC 型**の文になります。

このレッスンを受講することで **be** 動詞以外の **SVC** の動詞について理解できます。

■ Topics

文型(SVC)/ This chocolate tastes bittersweet like the first love.

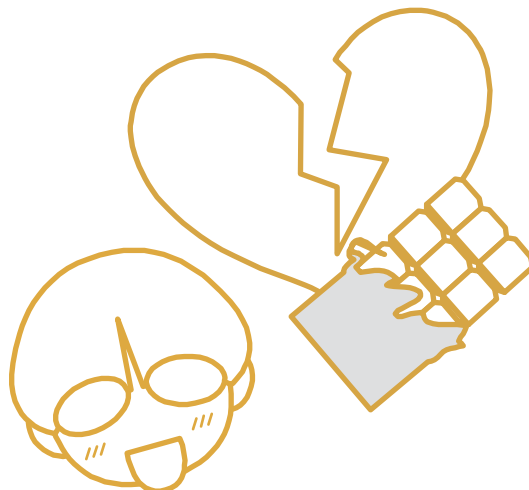
Topic1 SVC 型の動詞

- 「～になる」: **become, get**
- 「～のままである」: **stay, remain**
- 「～のように見える」: **look, seem**
- 「～のように聞こえる」: **sound**
- 「～の味がする／においがする／感じる」: **taste, smell, feel**
- 否定文と疑問文

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。

This chocolate tastes bittersweet like the first love.



Topic1

SVC 型の動詞

SVC 型の動詞には **be** 動詞の他にも**補語をとる動詞**があります。

ここでは**代表的な動詞**とその例文を見ていきましょう。

● 「～になる」: become, get

He became a teacher. 「彼は先生になりました。」

主語(S) 代名詞 he (彼)	述語動詞(V) 動詞 became (～になった)	補語(C) 冠詞 + 名詞 a teacher (1人の先生)
---------------------	------------------------------	------------------------------------

We are getting tired. 「私達はだんだん疲れてきました。」

主語(S) 代名詞 we (私達)	述語動詞(V) be 動詞 + 動詞の ing 形 are getting (～になってきている)	補語(C) 形容詞 tired (疲れた、疲れた状態である)
----------------------	--	-----------------------------------

● 「～のままである」: stay, remain

The housing market will stay strong for a while.

「住宅市場はしばらくの間好調なまま続くでしょう。」

主語(S)冠詞 + 名詞 the housing market (住宅市場)	述語動詞(V)助動詞 + 動詞 will stay (～のままでしょう)	補語(C)形容詞 strong (強い、強い状態である)	追加情報 前置詞 + 冠詞 + 名詞 for a while (しばらくの間)
--	--	------------------------------------	--

The weather will remain calm through Friday.

「金曜日まで天気は穏やかな状態が続くでしょう」

主語(S)冠詞 + 名詞 the weather (天気)	述語動詞(V)助動詞 + 動詞 will remain (～の状態が続くでしょう)	補語(C)形容詞 calm (穏やかな)	追加情報 前置詞 + 名詞 through Friday (金曜日まで)
----------------------------------	---	-------------------------	--

● 「～のように見える」: look, seem

The reform plan looks good to me. 「私にはその改革案は良さそうに見えます。」

主語(S)冠詞 + 名詞 the reform plan (その改革案)	述語動詞(V)動詞 looks (～のように見える)	補語(C)形容詞 good (良い)	追加情報 前置詞 + 名詞 to me (私には)
--	----------------------------------	-----------------------	------------------------------

The participants seemed bored with the activity.

「参加者達はその活動に退屈しているようでした。」

主語(S)冠詞+名詞 the participants (参加者達)	述語動詞(V) 動詞 seemed (~のように見えた)	補語(C)形容詞 bored (退屈している)	追加情報 前置詞+冠詞+名詞 with the activity (その活動に)
--	------------------------------------	-------------------------------	---

注意 : seem to be bored のように **to be** を付けることもあります。(be) bored with ~ で「~に退屈している」の意味になります。

注意 : 似た形に look/seem like ~のように後ろに like をつける形があります。例: Betty looks like my aunt. 「ベティは私の叔母のように見える。」

● 「~のように聞こえる」: sound

Their construction plan sounds good to me.

「彼らの建設計画は私には良さそうに聞こえます」

主語(S)所有格+名詞 their construction plan (彼らの建設計画)	述語動詞(V)動詞 sounds (~のように聞こえる)	補語(C)形容詞 good (良い)	追加情報 前置詞+代名詞 to me (私には)
---	------------------------------------	-----------------------	-----------------------------

注意 : look/seem like ~と同様、sound like ~とすることもできます。

例 : That sounds like fun. 「それは面白そうだ。」

● 「~の味がする/においがする(香りがする)/感じる」: taste, smell, feel

This tea tastes good. 「このお茶はおいしい。」

主語(S)形容詞+名詞 this tea (このお茶)	述語動詞(V)動詞 tastes (~の味がする)	補語(C)形容詞 good (良い)
--------------------------------	------------------------------	-----------------------

Something smells funny in this room. 「この部屋の中で何か変な臭いがします。」

主語(S)代名詞 something (何か)	述語動詞(V)動詞 smells (~の臭いがする)	補語(C)形容詞 funny (変な、おかしな)	追加情報 前置詞+形容詞+名詞 in this room (この部屋の中で)
----------------------------	----------------------------------	--------------------------------	--

I feel bad for Tom. 「私はトムを気の毒に思っています。」

主語(S)代名詞 I (私)	述語動詞(V)動詞 feel (~を感じる)	補語(C)形容詞 bad (悪い)	追加情報 前置詞+名詞 for Tom (トムに対して)
-------------------	---------------------------	----------------------	---------------------------------

This chair feels comfortable. 「この椅子は心地よく感じます。」

主語(S)形容詞+名詞 this chair (この椅子)	述語動詞(V)動詞 feels (~を感じる)	補語(C)形容詞 comfortable (心地よい)
----------------------------------	----------------------------	--------------------------------

注意：これらの動詞にも **like+** 名詞をつけ「～のような味がする／においがする／感じる」などの意味にすることができます。例：**This tea smells like coffee.** 「このお茶はコーヒーのような臭いがする。」

●否定文と疑問文

This house looks beautiful. 「この家は美しく見えます。」を**否定文**や**疑問文**にする場合は、**一般動詞**なので **does** を使います。

否定文：**This house doesn't look beautiful.** 「この家は美しく見えません。」

疑問文：**Does this house look beautiful?** 「この家は美しく見えますか？」

how を使い「どのように見えますか？」と尋ねる疑問文を作ることができます。

疑問文：**How does this house look?** 「この家はどのように見えますか？」

スコアアップ！

(DVD 版のみ収録)



●**SVC** 型を取れる一般動詞は見かけ上 **SV** 型と似ているので文法問題のポイントになることがあります。

The house looks _____. 「この家は～ように見えます。」

- a. beautiful ← 「美しい」(形容詞)
- b. beautifully ← 「美しく」(副詞)

正解は **a.beautiful**

このように選択肢に **beautiful** (形容詞) と **beautifully** (副詞) が出てきたら、**look** は **SVC** 型をとる動詞なので **beautiful** 「美しい」(形容詞) が正しいと分かります。

変^{な意味の} funny

You are funny. 「あなたは面白い。」、**a funny person** 「面白い人」などでは **funny** は「面白い」という意味ですが、感覚系の SVC 系の動詞に付けると「変な、妙な」の意味になります。

The song sounds funny to me. 「その歌は私には妙に聞こえます。」

You look funny. 「あなたは変に見える。」

This tea tastes funny. 「このお茶は変な味がする。」

The food smells funny. 「その食べ物は変な臭いがする。」

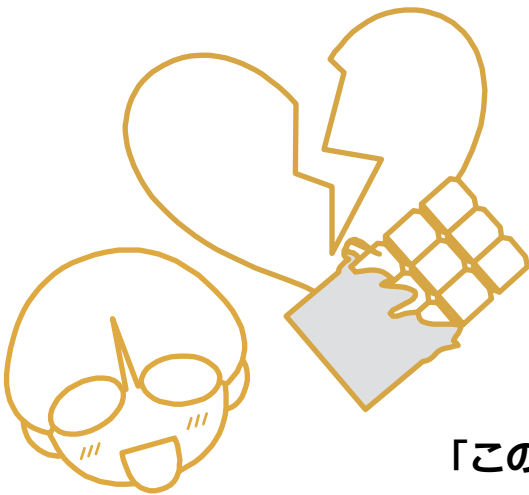
Something felt funny about his plan. 「彼の計画に何か変な感じがした。」

How do I look? 「私どんな感じに見える。」と尋ねられた時、**You look funny.** 「あなたは変な風に見えるよ。」と答えると、相手を傷つけてしまうかもしれないので気を付けてください。

コーヒープレーク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- SVC 型は **be** 動詞だけじゃない。
- SVC 型の補語(C)には**名詞**や**形容詞**に相当する語句が入る。
- 「~のように見える、においがする、味がする、感じる」など感覚系 SVC 動詞は **look like** ~ のようにして名詞をつけることもできます。
- **be** 動詞以外の **SVC** 型の否定文や疑問文には **do/does/did** を使う。



**This chocolate tastes bittersweet
like the first love.**

「このチョコレートは初恋のようにほろ苦い」

主語(S)形容詞+名詞

述語動詞(V)動詞

補語(C)形容詞

追加情報 前置詞+冠詞+形容詞+名詞

味がする)

bittersweet
(ほろ苦い)

like the first love (初恋のように)

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. One of his sons became _____.
a. a teacher
b. teachers
c. teach
d. teaching
2. It is getting _____ outside.
a. dark
b. darkly
c. darken
d. darkness
3. The police officer _____ angry.
a. looked
b. tasted
c. smelled
d. worked

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. The _____ felt satisfied with the workshop.
a. attendees
b. attendance
c. attending
d. attend
2. The sunset looks _____ from our house.
a. beautify
b. beautiful
c. beautifully
d. beautiful day
3. This soup may _____ sweet at first.
a. taste
b. sound
c. stay
d. is

Explanation - Practice

1. One of his sons became a teacher. 「彼の息子のうちの1人は先生になりました。」

解説： **a. teacher** 「先生」(名詞)を入れると **S=C** の関係が成り立ちます。

まず、問題文の **became** (**become** の過去形)の存在に注目します。**become** は **SVC** 型の典型的な動詞であることを知っていれば、解ける問題です。そこで主語の **One of his sons** とイコール関係になれそうなもの(補語)を探します。

また、「彼の息子たちの一人」は単数です。そのため **b. teachers** 「先生達」(名詞の複数形)では **S=C** の関係が成り立ちません。**become** に動詞の原形 **c. teach** 「教える」(動詞)をつけることはできません。**d. teaching** 「教えること」(動詞の **ing** 形)を入れても **S=C** の関係になりません。

2. It is getting dark outside. 「外が暗くなってきています。」

解説： **a. dark** 「暗い」(形容詞)を入れると **SVC** 型の文が成り立ちます。ここでも、問題文に **SVC** 型の典型的な動詞である **getting**(**get** の進行形)があることに注目します。また、天候や明暗を示す際に **it** を使うことを知っている必要もあります。つまり、**it** は天候を示していますから、その天候がどうなりつつあるのか?ということに補える補語を選ぶ必要があります。そこで形容詞である **dark** を選ぶのです。

補語は名詞または形容詞となるので **b. darkly** 「暗く」(副詞)は **get** につけられません。**c. darken** 「暗くする」(動詞)の原形も **get** につけることはできません。また、天候、温度、明暗、距離などの意味に **it** を使いますが、**d. darkness** 「暗さ」(名詞)を入れても **S=C** の関係になりません。

3. The police officer looked angry. 「その警察官は怒っているように見えた。」

解説： **a. looked** 「～のように見えた」(動詞の過去形)を入れると意味のとおり **SVC** 型の文になります。まず、問題文だけをみると、これだけで主語と補語の関係、つまり **The police officer** が **angry** な状態であることが想像できます。そこでその二つの語句をつなげることができ、かつ意味として適切なものになりそうなものを選びます。

b. tasted 「～の味がした」(動詞の過去形)、**c. smelled** 「～の臭いがした」(動詞の過去形)は両方とも **SVC** 型で使える動詞ですが、意味が変になってしまいます。**d. worked** 「働いた」(動詞の過去形)は **SVC** 型の使い方がないため **angry** (形容詞)を付けることができません。

Explanation - Homework

1. The attendees felt satisfied with the workshop. 「出席者はワークショップに満足しました。」

解説： **a. attendees** 「出席者」(名詞)を入れると **SVC** 型の文が成り立ちます。

問題文から「ワークショップにおいて満足していた」という意味が読み取れます。そこでその文の主語としては、「誰が」という人を意味する名詞を選びます。そこで **a. attendees** 「出席者」(名詞)を入れると **SVC** 型としても成り立ち、意味も自然な文ができあがります。

b. attendance 「出席」(名詞)、**c. attending** 「出席すること」(動名詞：動詞の **ing** 形)も主語に

なることは可能ですが、人を意味する名詞ではないので意味がとおりません。**d. attend** 「出席する」(動詞)は動詞の原形なので主語になることはできません。

2. The sunset looks beautiful from our house. 「私達の家から、夕日がきれいに見えます。」

解説 : **b. beautiful** 「きれいな、美しい」(形容詞)を入れると **the sunset = beautiful** の関係になるので **SVC** 型が成り立ちます。

この問題文には **look** という典型的な **SVC** 型の動詞があります。まずは、この動詞に注目し、必要なものは補語であると想像します。そこで補語として文法的に可能かどうかということからも検討できます。

a. beautify 「美化する」(動詞)です。**looks** (動詞)の後ろに動詞の原形をつけることはできません。

d. beautiful day 「美しい日」(形容詞+名詞)を **look** につけても **S=C** の関係になりません。補語は名詞または形容詞になるので、**c. beautifully** 「美しく」(副詞)も付けられません。

3. This soup may taste sweet at first. 「このスープは最初は甘い味がするかもしれません。」

解説 : **a. taste** 「～の味がする」(動詞)を入れると意味がとおる **SVC** 型の文になります。

この問題文の **may** は助動詞です。助動詞は動詞に意味を足す単語なので、解答には何らかの動詞を入れます。また、**This soup** と **sweet** の二つの語句から **s=c** の構成になっていることが想像できます。そこで空欄には **SVC** 型を構成する動詞であり、なおかつ意味の自然な物を選べばいいという結論に達します。**b. sound** 「～の音がする」(動詞)と **c. stay** 「～のままである」(動詞)は **SVC** 型の動詞ですが意味がおかしくなってしまいます。**d. is** は原形ではないので入れられません。助動詞の後ろは動詞の原形にするためです。